

パルム澄川ホスピス



私たちは「その人らしい人生の価値観」を尊重し「最後の看取りの瞬間」まで、心を込めた関わりを大切にしています。

～パルムのお看取り～



入居者様やご家族様との信頼関係を築きながら、入居者様が抱える様々な心身のつらさを和らげ、ご自分らしく過ごして頂けるように、緩和ケアを提供しています。また、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)にも力をいれています。

※ACPとは、入居者様の価値観をもとに、これからの過ごし方、治療・ケアにおける目標を、一緒に話し合う取り組みです。

.....最期の時期における入居者様とご家族との関わりをご紹介します.....

美容師であった80代の がん末女性との関わり

ご本人様にリラックスして頂けるよう、アロママッサージによるケアを行いました。室内全体がアロマの心地よい香りに包まれ、寄り添うご家族様も一緒にケアに参加され、とても喜ばれました。

「本当にお世話になりました」との感謝の気持ちを頂くことができました。

ご自分では自由にからだ を動かすことができなくな った60代のALS男性 との関わり

体調が悪くても、「たばこを吸いに行きたい」と希望。ご本人様の一番の希望を叶えるためにリクライニング車椅子へスタッフ2～3名で移乗介助、ぶかぶか(喫煙室)まで移動。スタッフがご本人様の手の代わりをつとめながら、ご本人様の望む安らぎの時間を継続することができました。

自立が失われていく過程を 嘆く50代の がん末女性との関わり

病状の進行に伴い自立が失われていく過程を嘆くご本人様に対し、ご本人様の趣味であるアクセサリーショップを食席で開きませんかと提案。すると、笑顔が戻り、毎日スタッフからのピアスのオーダーを受けることにやりがいを見出し、活気を取り戻すことができました。